

人材育成への取り組み

「人材」を最も価値ある戦略的資源と考え、多様性を尊重した環境作りや有為な人材の育成等を通じ、「人材価値」の向上に注力しています。

開かれた雇用機会の提供

SBIグループでは採用において、性別・学歴・国籍は一切問わず、プロフェッショナルとしての職歴や技能に加えて人間性を重要視しています。2006年から開始した新卒採用においてもこの基準に照らし、多様なバックグラウンドを持つ将来性の高い人材を多数採用してきました。新卒・キャリア採用にかかわらず、優秀な人材については積極的に登用し、昇進させる姿勢を徹底してきたことがSBIグループ発展の原動力の一つとなっています。

多様な社員の活躍を支える取り組み

グローバルな事業展開が加速化しているSBIグループでは、多様な国籍の従業員を雇用していることもあり、従業員一人ひとりが人種や宗教、年齢、性別、障がいの有無にかかわらず活躍できる職場環境の整備に取り組んでいます。

また、当社従業員のうち約35%を占める女性の一人ひとりが、広い視野を持って自立的にキャリアを構築し、多様なフィールドで活躍できる環境作りにも注力しています。結婚や出産と

いったライフステージの変化に応じ、育児休業や短時間勤務制度を整備するなど、仕事と育児の両立を中心に支援しています。同時に、採用・昇格・昇進などの全てにおいて性別に区別なく、実力に応じた評価を行っています。

女性従業員の状況(単体)

(単位:%)

	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期
女性従業員比率	27.9	33.1	34.5
女性管理職比率*	16.3	17.8	18.3

* 当社社員の全管理職内の女性管理職の比率

社員の意欲に応える公正な処遇

従業員の処遇は成果のみならず、結果に至るプロセスも重視しています。その評価は、半期ごとの目標達成度をもとに、経験、能力、業績への貢献度等の総合的な判断で決定され、「功ある者には禄を与え、良識・見識ある者には地位を与える」という方針を貫いています。

SBI大学院大学を通じた人材育成

人間力を涵養し、幅広い知識を身につける社会人の学びの場

私は企業派遣制度を活用してSBI大学院大学へ進学しましたので、平日の日中は働いて朝や週末などに勉強する日々でした。学生の中には、SBIグループ社員や多方面の業界の方々、経営者も多く、様々な刺激を受けました。優秀な成績で修了した人が起業する場合などには、グループが全面的に支援することもあり、他の学生と切磋琢磨しました。

特徴的な人間学の講義では中国古典の授業もあり、リーダーとして、また人間としての心得を学びました。卒業した今では、日頃の業務のなかで経営的な話に触れると、経営者の視点で物事を考えるようになるなど、自分の中で大きな変化がありました。

SBI大学院大学とは……SBI大学院大学は、日本・世界の経済・社会に活力をもたらす「有為な人材」の育成を目的として、SBIグループの全面支援によって2008年4月に開校。文部科学省から認可を受けており、卒業時に要件を満たせば『MBA:経営管理修士(専門職)』が授与される。また2009年秋からは、次期SBIグループを担う人材の育成を主たる目的として、SBI大学院大学への企業派遣制度を実施、これまで当制度を通じた入学者数は80名(修了者含む)を超え、多くのSBIグループ社員がマネジメントを担う上で必要な素養を身につける学びの場として活用。



SBI損害保険(株)
コンプライアンス統括部

小嶋 好明